

第 20 号 令和 4 年 12 月発行

水明会通信 スワン



外食・買い物ツアーに行ってきました。

佐潟公園病院 作業療法士 山田由加利

先日患者様にとって約 3 年ぶりとなる外出ツアーに行ってきました。そこで今回は 2B 病棟の外食・買い物ツアーの様子をみなさんにお伝えしたいと思います。

9 月の下旬、市内の新型コロナウイルス感染症患者数も落ち着いている事から外出の許可がおりました。予想もしておらず、久しぶりの外出に色々な記憶が曖昧になっていましたが、頭をフル回転させ病棟看護師の協力を得ながら計画を立てました。

当日は 9 名の患者様とスタッフ 5 名の計 14 名で出かけました。お昼前に病院を出発です。車内では



久しぶりの外出にウキウキ気分の患者様の声が絶えず聞こえていました。そうこうしているうちに亀貝にある里味に到着しました。個室に通され、患者様は各々メニュー選びに夢中です。直ぐに決まった方、なかなか決められない方と様々ですが雰囲気はとても和やかでした。注文を終え待っている間も、感染対策に留意したうえでみんなでおしゃべりをし、楽しい時間を持つ事ができました。各々注文した品が届き小声ですが全員で『頂きま

す！』をしてのはずが、待ちきれずフライングをした患者様が!!しかし、それも外食の楽しみ。仕切りなおして“頂きます”をした後は黙食を守り食べていました。まるで CM のような麺をすする音が聞こえ、同行のスタッフのお腹の音もなったのは言うまでもありません(患者様とは一緒に食べられないので、スタッフは我慢の時間でした)。患者様はお腹も心も満たされ、とても幸せそうな表情をされていました。食事後は少しの歓談時間を設け、その後次の目的地であるアピタに向かうべくバスに乗り里味を後にしました。

アピタ到着後は 2~3 人程度のグループに分かれ別行動です。私が同行したグループはまず衣料品を見に行きました。色合いや生地の確認し、気に入った物を購入しました。次は本屋さんに向かいました。予め欲しい本を決めていられ、タイトルを店員さんに伝えあっという間に見つかりました。その後 100 円ショップへ向かい、日用品を見て回りました。別行動をしていた患者様も衣類やカバン等、自身が欲しいものを購入できたようです。実際手に取り、自分の目で商品を確認し気に入った物を購入するという、当たり前前の事が実は貴重な経験なのだという事が今回久しぶりに外出へ行き、再確認できました。その後帰りのバスの時間までしばしの休憩時間をとり、病院への帰路につきました。

今回の外出を通して患者様の普段の活動では見られない表情や行動を多く見る事ができ、とても有意義な時間を患者様もスタッフも持つ事ができたと思います。次回がいつになるのかは未定ですが、また患者様と楽しい時間を共有できたらと思っています。

はばたき展 開催しました！

デイケアセンターはばたき 作業療法士 佐藤宏平

デイケアセンターはばたきでは令和 4 年 10 月 11 日から 31 日まで「はばたき展」と称して、デイケア館内にて利用者様の出展による作品展示会を実施しました。昨今のコロナ禍において活動に制限がある中、デイケア館内にて秋にもお祭りの様なイベントができないかとスタッフで意見を交わし、昨年より実施されました。

今年はデイケアにて活動している「創作クラブ」「ハンドメイドクラブ」「スキルアップクラブ」「句会」「ふあんふぁ〜れクラブ」の 5 つのクラブからそれぞれ作品を出展して頂きました。どのような作品にするかは各クラブのメンバーと担当スタッフで話し合い、「創作クラブ」「ハンドメイドクラブ」「句会」では個人で作成したものを飾り、「スキルアップクラブ」「ふあんふぁ〜れクラブ」では全員で一つの作品を完成させるという形の出展になりました。どのクラブもそれぞれ個性的な仕上がりになり、開催期間中館内はとても華やかな雰囲気でした。

ここで、作品展示をご覧になった利用者様の感想を一部紹介させていただきます。「はばたき展で出展ができるかと思うと、作品作りが頑張れました」



「どの作品も素晴らしく、目を引くものばかりでした。皆さんがどれだけ頑張って製作してきたのかが伝わりました」「いろんな作品があって楽しかったです。また来年もはばたき展を楽しみにしています」といった意見を頂きました。作品作りに鑑賞に皆さん楽しんで参加されていたようです。



デイケアでは普段個々人にて作品を作る機会は多くありますが、大々的に展示して披露する機会が少ない為、このような「はばたき展」を通して、作品を作る喜びに加え、他の方の作品を楽しむ喜びも体感して頂けたかと思います。またクラブのメンバーが一丸となって一つの作品を作り上げる一体感や、完成した時の達成感を味わえた方もいらしたようで、好評を頂いた「はばたき展」を来年以降も開催していければと思います。

みんなと活動する、交流するって楽しい！

就労支援継続 B 型ラグーン 主任 飯塚有紀

新型コロナウイルスの感染拡大も予断を許さない状況ではありますが、ラグーンでは感染予防に努め、11月26日に行われた「福祉・介護・健康フェア 2022in 新潟」に参加しました。ラグーンカレーの提供、クリスマスオーナメント作りのワークショップ、米袋リユース商品などの手作り雑貨の販売をさせていただきました。コロナ禍でイベントの実施や参加にも躊躇してしまう日々ですが、当日は多くの方が来場してくださり、とても楽しいイベントになったと感じています。マスクにも慣れてきてしまっている今日この頃ですが、お互いの笑顔が見える、マスクのない日常に早くなったらいいのに…と改めて思います。



ラグーンカフェでは、12月から季節のごはんが「麻婆丼」になります。ちょっとピリ辛で、体もポカポカになりますよ。季節の麺は大人気の「豆乳担々麺」です。人気過ぎて“定番メニューにしてほしい”というお声もたくさんいただきます。まだの方はぜひ召し上がってみてくださいね。また、カフェや病院の待合室には、フレッシュのハーブを使ったクリスマスリースなどの飾り付けもしています。寒い季節ですが、「食」と「創る」の活動で、皆さんの心と体が温まる時間を提供できたら嬉しいです。

佐潟公園病院 年末年始休診のお知らせ

令和 4 年 12 月 30 日（金）～令和 5 年 1 月 3 日（火）全ての診療科 休診

